

株式会社 増子建築工業

〒 963-8061 福島県郡山市富久山町福原字東内打 5-1 TEL. 024-933-0301 FAX. 024-939-3355

●代表者：代表取締役 増子則雄 ●設立：昭和 42 年 6 月
●資本金：2,000 万円 ●従業員：31 名 ●URL：http://masico.co.jp/

“木で家をつくる”原点回帰は、生産性の向上と時間の短縮で可能に



6 軸モルダによる加工の様子

きっかけ・課題

当社は人に優しい自然素材の家づくりをモットーにしております。

供給体制は社内では構築していますが、従来の機械では木材加工の生産体制が大工の必要とする需要に追いつかず、稼働時間を延長するなどして対応しているのが現状です。

しかし、近隣への時間外騒音などの配慮を考えると、これ以上現状の稼働時間を延長させることは現実的に不可能な状

況にあります。現スタイルではこれ以上のキャパシティの増加を見込むことは不可能だと判断せざるを得ず、本事業において高度生産性向上型の最新モデルの機械を導入することにより、木材の加工精度を向上と短納期化を目指しました。



INTERVIEW



本物の木で家をつくる。それが私たちの原点

株式会社 増子建築工業 代表取締役専務 増子則満

近年「木の家づくり」が増えています。これは当社にとっての原点回帰そのもののなのです。土台や柱、梁を1本1本吟味して墨を付ける。精緻に刻んで現場で間違いなく組み立てる。狂いも間違いもなく建てて、お客様に喜んでもらう。それが職人冥利というものなのです。

当社が約半世紀に渡って培ってきた家づくりは、聖徳太子の昔から職人が受け継いできたものであり、我々もそれを後進に伝えるべく、今後も精進してまいります。

実施内容

新加工機器の導入で製造工程と時間の短縮に成功

木材の加工精度向上および生産性の向上に伴う短納期化を実現するために、床板加工等を行う「6 軸モルダ」を導入し、現状で製材加工にかかる時間(1坪あたり48分)を現状の 5 分の 1(およそ9分)に短縮、さらに各機械へ材料を移動する回数(5回)を現状の 5 分の 1(1回)にすることを目標に設定。

また板をつなぎ合わせる「高周波板はぎ・枠組接着機」も導入し、木材圧着の時間を 1 日～2 日(気候による差異)から8分に短縮することを目指しました。



事業の成果

生産性向上と材料の安定供給で適正価格での供給が可能に

最新の精密機械を導入する事により生み出される時間を江戸時代中期に確立した伝統技法の習得に充て、福島県産木材を 100% 使用した多岐にわたる福島県地域の風土に根差した住環境及び木材の美をお客様へ提供するために行う。6 軸モルダと高周波板はぎ・枠組接着機を導入した事により、木材加工にかかる時間が短縮し、生産性が上がり、材料の安定供給につながりました。

さらに設定した目標を達成したことにより、品質・生産性を向上させ、同時にコスト競争力を持たせることで適正価格での供給が可能となりました。



FUTURE OUTLOOK

高品質の住宅建築で地域の活性化に貢献する

木材に対して機械加工を施すことで、精密な形状の良い品質の材料を使用した住宅を福島県内のより多くのお客様へ提供してまいります。

また、生産時間を短縮し生まれる新たな時間を若手技術者の技能向上のため、難しい仕事への取り組みや手道具の手入れや継手の墨付け、加工練習等に充て、最新技術と伝統工法の融合による魅力ある多くの若手職人を育成することが、我々の役目だと考えております。

当社の誇る、オリジナルの技術による高い品質の建物を提供することで地域活性化に貢献することを目指して取り組んでいきます。

